

2023年 3 月期 決算説明資料

2023年4月28日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

目次

1. 2023年3月期 実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2024年3月期 計画

- 1) 業績予想

1. 2023年 3 月期 実績報告

1) 決算ハイライト

【事業環境】

- ・ 業界全体のリース取扱高は前年比1.6%増
- ・ 資金調達環境や倒産状況は引続き今後の動向に注視が必要

【営業実績】

- ・ リース事業は、前年のGIGAスクール案件の影響から契約実行高は前年並みとなったものの、成約高は前年比増加
- ・ ファイナンス事業は、ファクタリングや企業融資が増加し、契約実行高・成約高ともに前年比増加

< リース事業 >	契約実行高： 1.4%減	成約高： 8.7%増
< ファイナンス事業 >	契約実行高： 10.3%増	成約高： 9.8%増

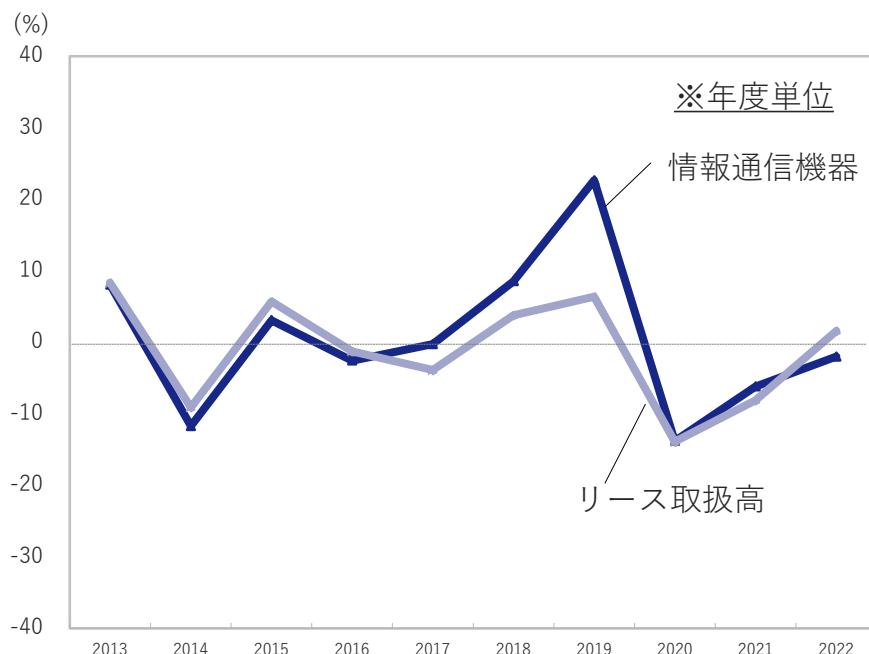
【経営成績】

- ・ 営業利益、経常利益共に前年比増益となるものの、非支配株主に帰属する当期純利益の増加により最終利益は前年を下回る
- ・ 2023年1月30日の業績予想修正公表後、インベストメント事業、リース事業において与信コストの発生があったことなどにより利益計画は予想値に未達

2) 事業環境

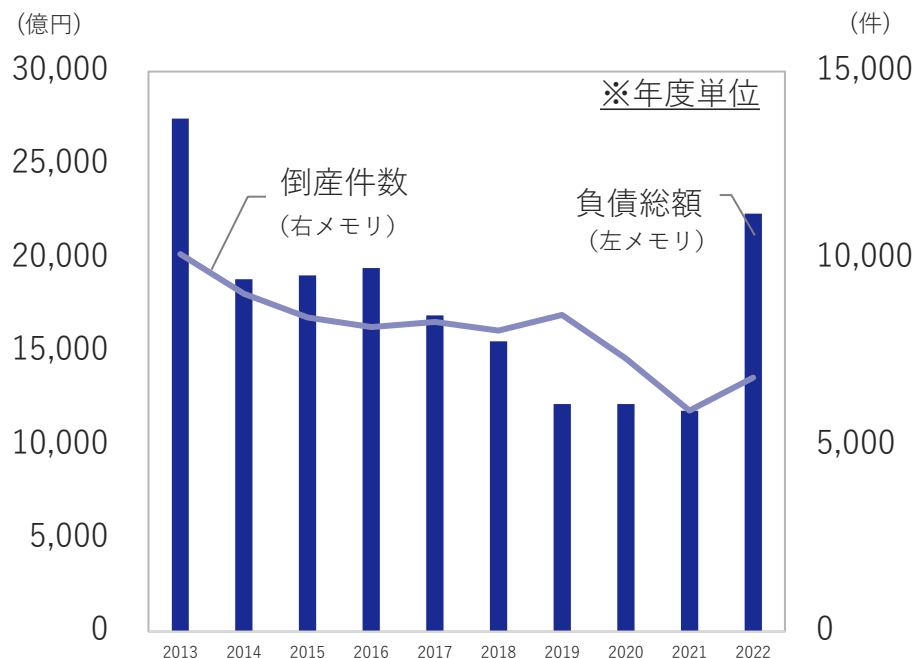
- ・ リース取扱高：業界全体は前年比1.6%増、当社主力の情報通信機器は前年比2.0%減
- ・ 倒産状況：22年度における倒産件数は増加、負債総額は1Q発生的大型倒産の影響で大幅増加

■ リース取扱高動向（前年比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

■ 倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

3) 業績概要

- ・売上高 : インベストメント事業の伸長等により前年比3.3%増
- ・経常利益 : ファイナンス事業のGP増加に加え、与信コストの減少等から前年比8.9%増

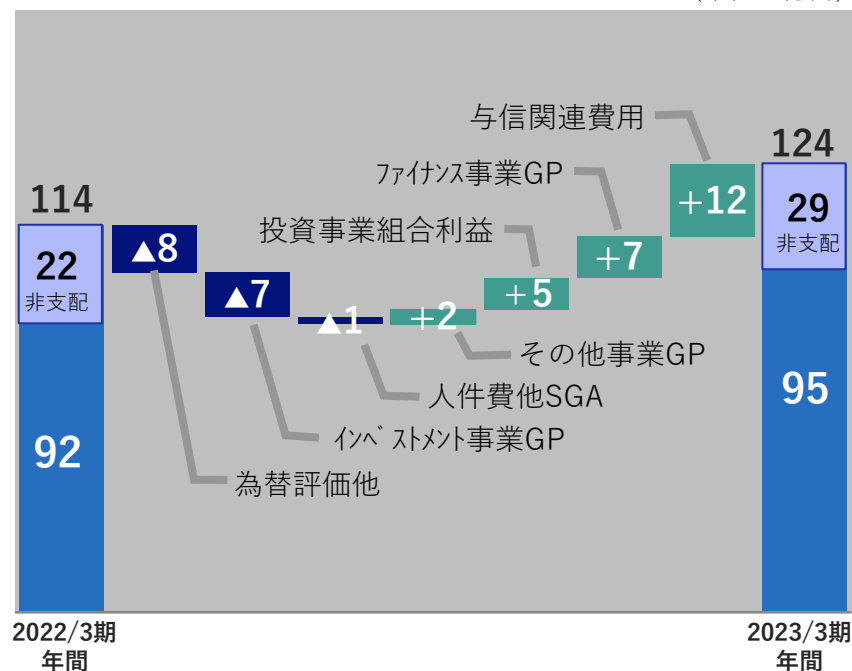
■ 業績数値

(単位：億円)

	2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
売上高	2,499	2,581	+3.3%
営業利益	104	117	+12.1%
経常利益	114	124	+8.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	69	64	▲7.5%
1株当たり当期純利益	322円37銭	298円14銭	—
営業資産残高	9,434	9,661	+2.4%
純資産	1,217	1,288	+5.8%
自己資本	1,032	1,095	+6.1%
自己資本比率 (%)	10.0	10.4	+0.4
1株当たり年間配当金 (円)	74	110	+36

■ 経常利益 前年比主要増減要因

(単位：億円)



4) 事業別損益

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
リース 事業	売上高	2,242	2,243	+0.0%
	売上総利益	166	166	+0.2%
	営業利益	71	64	▲10.6%
ファイナンス 事業	売上高	52	66	+25.9%
	売上総利益	41	48	+16.6%
	営業利益	▲7	22	-
インベストメント 事業	売上高	164	228	+39.4%
	売上総利益	96	88	▲7.7%
	営業利益	54	44	▲18.2%
その他の 事業	売上高	42	45	+6.8%
	売上総利益	15	17	+15.6%
	営業利益	3	5	+79.3%
計	売上高	2,499	2,581	+3.3%
	売上総利益	317	319	+0.7%
	営業利益	104	117	+12.1%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<リース事業>>

- ・売上高および売上総利益は前年並みを確保したものの、営業利益は与信関連費用や人件費の増加から前年比減少

<<ファイナンス事業>>

- ・金利収益等の増加に加え、与信関連費用の減少等から売上高、売上総利益、営業利益共に前年比増加

<<インベストメント事業>>

- ・1Qに大型の不動産売却があったことから売上高は前年比増加。営業利益は、前年にあったベンチャーファンドのEXIT益の反動に加え与信関連費用の計上から前年比減少

<<その他の事業>>

- ・新規事業の取り組みが着実に進展し営業利益は前年比増加

5) 事業別の営業状況

■ 事業別契約実行高

(単位：億円)

		2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
リース事業		2,184	2,154	▲1.4%
	賃貸事業	2,017	1,925	▲4.5%
	割賦販売	168	229	+36.6%
ファイナンス事業		3,274	3,612	+10.3%
	営業貸付金	2,299	2,598	+13.0%
	一括ファクタリング	975	1,014	+4.0%
その他の事業		27	38	+40.2%
計		5,485	5,804	+5.8%

■ 事業別成約高

(単位：億円)

		2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
リース事業		2,030	2,206	+8.7%
	賃貸事業	1,857	1,973	+6.2%
	割賦販売	173	233	+34.9%
ファイナンス事業		3,282	3,606	+9.8%
	営業貸付金	2,307	2,591	+12.3%
	一括ファクタリング	975	1,014	+4.0%
その他の事業		57	15	▲73.9%
計		5,369	5,826	+8.5%

- ・ 契約実行高は、前年1QにGIGAスクール案件を計上したリース事業は前年並みとなるものの、ファイナンス事業が伸長し、前年比増加
- ・ 成約高は、リース事業及びファイナンス事業が伸長し、前年比増加

6) リース事業の営業状況

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
官公庁	1,277	1,171	▲8.3%
民需	907	984	+8.4%
サービス業	295	345	+16.8%
流通業	189	151	▲20.0%
製造業	205	238	+16.4%
その他	218	249	+14.4%
計	2,184	2,154	▲1.4%

■ (参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
情報通信機器	1,702	1,661	▲2.4%
電子計算機及び関連装置	676	716	+5.9%
ソフトウェア	906	773	▲14.7%
通信機器及び関連装置	120	172	+43.5%
事務用機器	144	181	+25.6%
その他機器	338	312	▲7.6%
計	2,184	2,154	▲1.4%

■ 業種別成約高

(単位：億円)

	2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
官公庁	1,105	1,183	+7.1%
民需	926	1,023	+10.5%
サービス業	297	375	+26.4%
流通業	190	144	▲24.2%
製造業	218	246	+12.5%
その他	220	258	+17.1%
計	2,030	2,206	+8.7%

<<業種別契約実行高>>

- ・官公庁は、前年1Qに計上したGIGAスクール案件の影響から減少
- ・民需は、流通業を除き増加したことから前年比増加

<<業種別成約高>>

- ・官公庁は、大型の自治体案件獲得により前年比増加
- ・民需は、流通業を除き増加したことから前年比増加

7) ファイナンス事業の営業状況

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
立替・APF・割賦バック	222	245	+10.6%
個別ファクタリング	929	1,042	+12.2%
一括ファクタリング	975	1,014	+4.0%
企業融資	1,018	1,156	+13.5%
その他	130	154	+18.7%
計	3,274	3,612	+10.3%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 年間	2023/3期 年間	前年比
官公庁	12	15	+27.7%
民需	2,287	2,583	+12.9%
サービス業	185	230	+24.2%
流通業	231	208	▲9.8%
製造業	1,041	1,091	+4.8%
金融業・保険業	344	383	+11.4%
不動産業	285	362	+27.3%
その他	202	308	+52.7%
一括ファクタリング	975	1,014	+4.0%
計	3,274	3,612	+10.3%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・ファクタリング及び企業融資を中心に伸長したこと等から前年比増加

<<業種別契約実行高>>

- ・民需において、流通業を除く全ての業種で増加し前年比増加

8) インベストメント事業の状況

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2022/3期 年間	2023/3期 年間
アセットビジネス	売上高	119	106
	売上総利益	67	65
	営業利益	36	32
不動産	売上高	40	118
	売上総利益	25	20
	営業利益	20	14
アドバイザー	売上高	4	4
	売上総利益	4	4
	営業利益	▲1	▲1
のれん他	売上高	0	0
	売上総利益	0	0
	営業利益	▲1	0
連結ベース 計	売上高	164	228
	売上総利益	96	88
	営業利益	54	44

販売用不動産の売却等に伴い売上高は増加するものの、ファンドのEXIT益減少等により利益は減少

<<アセットビジネス>>

- ・ 前年同期にベンチャー投資のEXIT案件等があったことに加え、与信関連費用の計上により営業利益は前年比で減少

<<不動産>>

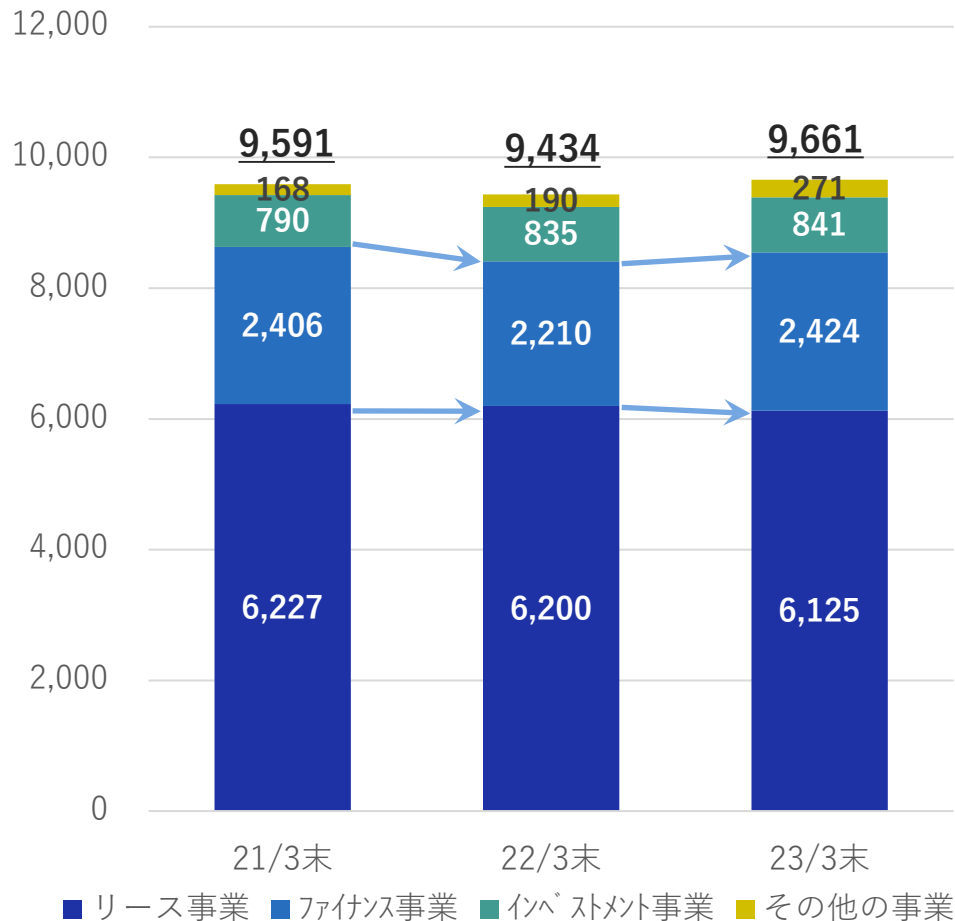
- ・ 大型売却があったことから売上高は伸長するものの、利益面では前年に大型配当収益を計上したこと等に伴い前年比減少

<<アドバイザー>>

- ・ 前年並みの推移

9) 営業資産残高の状況

(単位：億円)



<<リース事業>>

- ・ 大型の物件売却があったものの、ほぼ前年並みを確保

<<ファイナンス事業>>

- ・ ファクタリングや企業融資を中心に、アセットを積み上げ、前年比214億円増

<<インベストメント事業>>

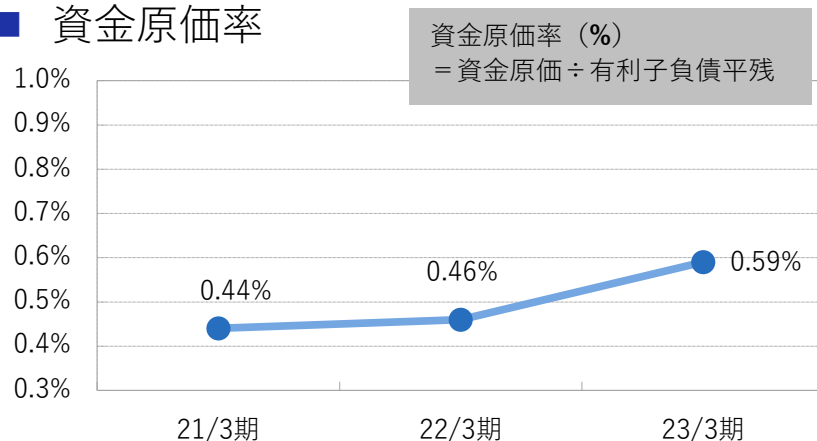
- ・ 大型不動産の売却があったものの、投資有価証券等の増加により前年並みを確保

<<その他の事業>>

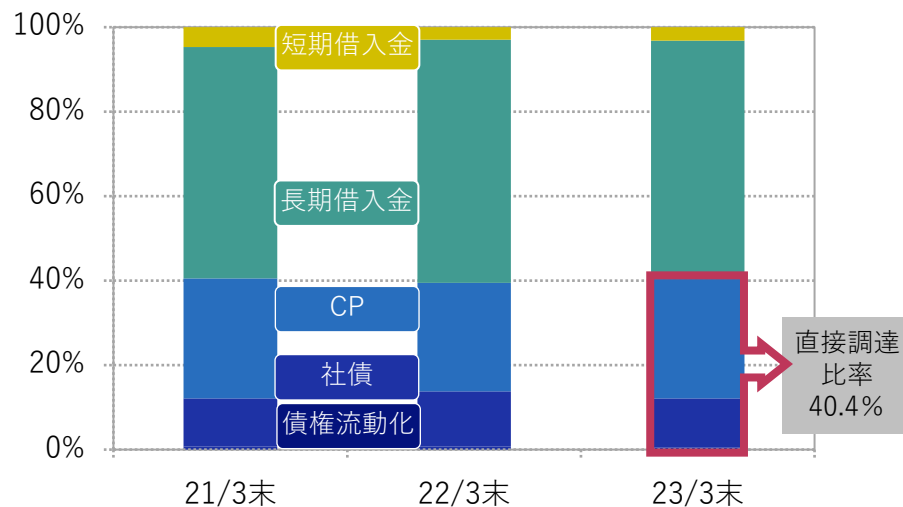
- ・ 新規事業の取り組み進展に伴い前年比81億円の増加

10) 資金調達状況

■ 資金原価率



■ 有利子負債構成比



■ 有利子負債残高

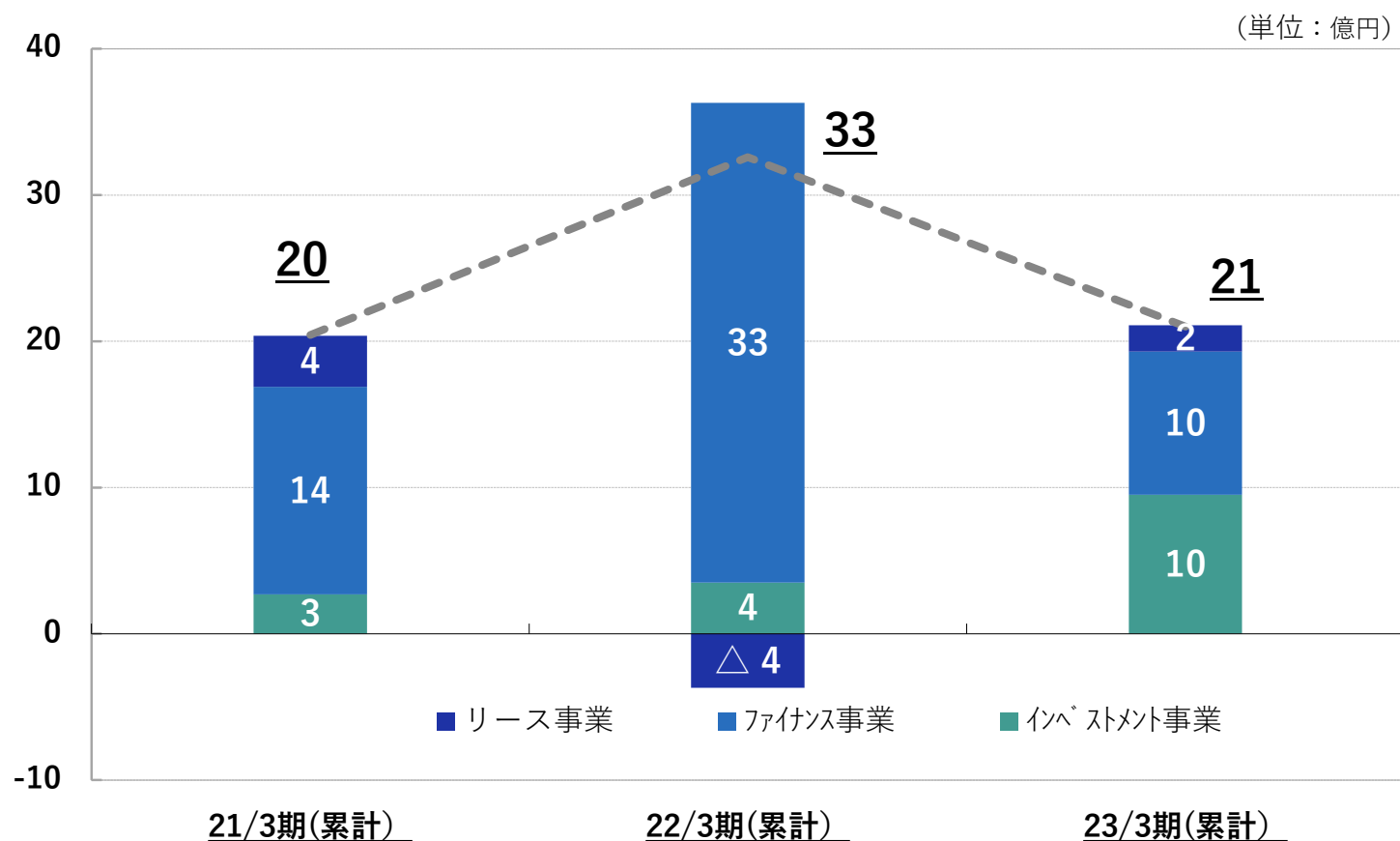
(単位：億円)

	2022/3末		2023/3末		増減
		構成比		構成比	
短期借入金	246	2.9%	271	3.2%	+25
長期借入金	4,853	57.6%	4,851	56.5%	▲2
CP	2,160	25.6%	2,430	28.3%	+270
社債	1,102	13.1%	1,002	11.7%	▲100
債権流動化	64	0.8%	40	0.5%	▲24
計	8,424	100.0%	8,593	100.0%	+169

- ・ 資金原価率は、外貨の調達金利の上昇等に伴い前年比0.13ポイント増加の0.59%
- ・ 直接調達比率は、CPの増加等に伴い前年比増(2022/3末 39.5% → 2023/3末 40.4%)

11) 与信関連費用

- ・リース事業およびインベストメント事業で増加するものの、ファイナンス事業の減少により全体では改善



2. 2024年 3 月期 計画

1) 業績予想

- ・ 既存事業の持続的な成長と高収益分野の収益拡大を図るとともに、利益計画に見合う利益還元を進める

(単位：億円)

■ 業績予想	2023/3期 年間	2024/3期 年間(予想)	増減
売上高	2,581	2,600	+19
営業利益	117	120	+3
経常利益	124	125	+1
親会社株主に帰属する純利益	64	75	+11
1株当たり純利益 (円)	298円14銭	348円37銭	-

■ 1株当たり配当金	第2四半期末	期末	年間
2023/3期 実績	37円00銭	73円00銭	110円00銭
2024/3期 予想	65円00銭	65円00銭	130円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。

\Orchestrating a brighter world

NEC